

今日のシライ中

本の翼 白井中学校図書室から VOL.28

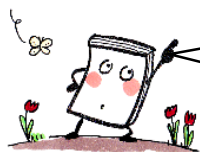
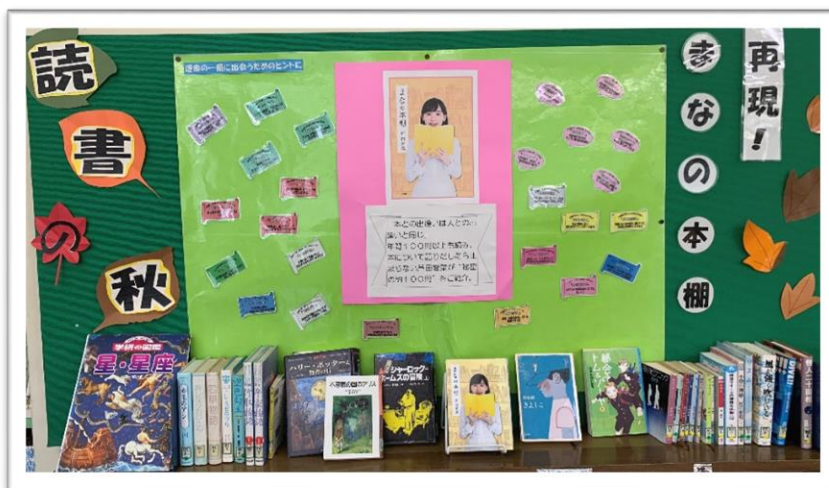
2019年10月27日の朝日新聞に編集委員の福島申二さん（当時）が「どこで聞いたか読んだか忘れたが、愉快的な話だったので覚えている」としてこんな話を載せていました。

アメリカの老富豪があるとき「全財産をはたいてもかなえない望みはありますか」と聞かれて、「大好きな『ハックルベリー・フィンの冒険』をまだ読んでいない状態に戻してほしい」と答えた。大人になっても読み返すたびに面白いが、初めて読んだあの興奮は戻らない。願わくはもう一度、まっさらになって読んでみたい。

本と人との素晴らしい出逢いがわかる話です。こんな出逢いを是非皆さんにもしてほしいと思います。

その手助けとなる一冊として『まなの本棚』 芦田愛菜 小学館がおすすめです。

子役のころから人気者で、現在高校生の芦田愛菜ちゃん。忙しい中でよくこれほどの読書量を！と、びっくりさせられます。そのジャンルも多岐にわたり「本当に読むことが好きなんだ」と改めて感じます。作品ごとに読みどころや感想、思い出などが生き生きと語られています。昔の日本文学も多く、難しそうな作品は最初にまんが版などを読んでから原作にチャレンジしているそうです。古典は苦手という中学生の参考にもなります。詳しくは図書室に「再現！まなの本棚」と題してコーナーを作っております。



愛菜ちゃんは本の背表紙を見ていると、背表紙がキラッと光って見えて「あ、この本読んでみたいなあ・・・」と思えるものが目に入ってくるんだって。